

# セグメント分析取組事例②（愛知県日進市）

## 分析の目的

○公共施設等のマネジメント及び行政評価等への活用に向けて、課題の把握や意思決定過程における判断材料の1つとすることを目的として、施設別行政コスト計算書及び貸借対照表を作成。

## 事例概要

- 非財務情報として、人口と利用者数を用い、1人あたりの純行政コストを算出することにより、施設間比較が可能となった。
- 固定資産の額は固定資産台帳、地方債の額は起債台帳から、それぞれ対象施設に直接関係する金額を抽出し、計上。
- 賞与引当金は平均単価に職員数を乗じて算出。
- 執行データ又は仕訳帳から対象施設に関する支出を抽出し、計上。
- 人件費は、平均単価に直接従事する人数を乗じて算出。
- 複数施設で契約している光熱水費や施設管理費等、直接的な経費は配賦（面積や利用者数等の合理的な基準で按分）しているが、間接経費（人事部門の経費等）は配賦しない。

## 【作成例】

事業（施設）名	福祉会館	所在地	事業（施設）名やその概要を記載
事業（施設）名	福祉会館	所在地	事業（施設）名やその概要を記載
事業（施設）名	福祉会館	所在地	事業（施設）名やその概要を記載

(1) 事業内容

職員数	2
運営形態	直営
主要構造	RC造
エリア内人口	10,000人

(2) 保有固定資産一覧

資産区分名称	所在地	資産名称	取得年数	取得年月日	供用開始年月日	取得価額等(円)	数量	延床(建物)	減価償却累計額	現在簿価
事業用資産/土地	●●●丁目●●●	●●●	1年	●●●		250,000,000	6800㎡			
事業用資産/建物	●●●丁目●●●	●●●福祉会館	50年	●●●		240,000,000	1500㎡	2	136,000,000	204,000,000
有形固定資産/工作物	●●●	●●●	10年	●●●		30,000,000	200㎡		3,000,000	27,000,000

保有している資産の状況を記載

(3) 地方債情報

種別	借入額(円)	利率(%)	借入年度	償還期間(年)	借入先	年度末残高(円)
社会福祉施設整備事業債	270,000,000	2.000	●●●	20(13)	財政融資資金	140,000,000

※償還期間の括弧書きは償還期間

(4) セグメント情報

IS	【資産の部】		PL	【負債の部】	
	固定資産	流動資産		借入金	繰上収益
有形固定資産	581,000	124,000	借入金	200	
事業用資産	581,000	124,000	繰上収益	200	
土地	350,000	17,200	繰上収益	45,100	
建物	240,000	16,000	繰上収益		
建物減価償却累計額	-136,000	1,200	繰上収益		
物品	30,000	141,200	繰上収益		
物品減価償却累計額	-3,000		繰上収益		
固定資産等形成分	581,000		繰上収益		

IS (単位:千円)

PL (単位:千円)

平成30年3月31日現在人口(A) 90,000  
平成29年度施設利用者数(B) 46,000  
7人あたりの純行政コスト(円)  
人口(職員数含む) 501  
利用者(職員数含む) 322  
利用者(職員数含む) 652  
利用者(職員数含む) 441  
有形固定資産減価償却率(%) 37.6%

施設別財務書類、指標や非財務情報を用いた単位あたりコスト等を記載

## セグメント分析結果

○維持管理経費にばらつきが見られるとともに、一部施設においては、今後の更新を見据えた検討が必要ではないかと推測され、さらに経年比較による分析も行い、施設の保守点検業務等に係る維持管理経費の見直しのきっかけとなった。

## 今後の課題・展望等

○セグメント別財務書類から得られた情報を分析・検証する時間に充てられるよう、令和元年度から導入している行財政システムの運用試行を行い、将来的には、各所管課においても、セグメント財務書類が取り出せるような仕組みをつくり、全庁的な体制作りを持ち込むことを検討している。